

ユーシン

景況レポート

Number.102
(2019.10~12月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業226企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

業況は、小売業・不動産業で改善

10月~12月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△9.3と、2019年7~9月期(前期)の調査より2.7ポイント低下し、景況感はわずかに悪化しました。

業種別では、製造業で2.8ポイント、卸売業で18.1ポイント、サービス業で13.0ポイント、建設業で6.4ポイント低下しましたが、小売業で14.6ポイント、不動産業で10.8ポイント改善しました。

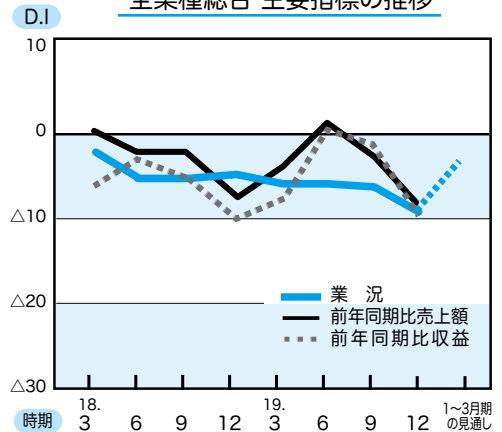
項目別では、売上判断D.Iが△3.5と前期比2.7ポイント、収益判断D.Iにおいても3.5ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△8.8、前期比5.3ポイント、同収益判断D.Iでも△9.7、同8.4ポイントともに低下しました。

雇用面では、人手過不足D.Iが△15.9と前期比3.1ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては同1.8ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が前期比1.3ポイント低下し、借入難易度では、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ28.3%、「人手不足」が26.1%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「2020年(令和2年)の経営見通し」について、「2020年の日本の景気をどのように見通していますか」の質問に対し、「普通」が51.3%と最も多く、次いで「やや悪い」が24.8%という結果となりました。(詳しくは8~9ページに掲載しています)

全業種総合 主要指標の推移



1月~3月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは△3.5、当期実績比5.8ポイント改善の見込

来期は、製造業・卸売業・小売業・建設業・不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比8.8ポイント、収益判断D.Iでも同6.7ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iにおいては同1.3ポイントの低下を見込んでいます。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.7ポイント低下、また、残業時間D.Iは4.5ポイントの増加見通しとなっています。当面の重点施策でも、「経費の節減」が49.1%、「販路を広げる」が38.5%、「人材を確保する」が22.1%と上位になりました。

景況天気図

【この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました】

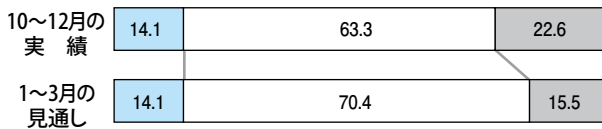
業種名	時期	時期			概	要
		元年7月~元年9月	元年10月~元年12月	2年1~3月見通し		
総合					業況判断D.Iは、2.7ポイント低下し△9.3。来期は、5.8ポイント改善し△3.5の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、2.8ポイント低下し△8.5。来期は、7.1ポイント改善し△1.4の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、18.1ポイント低下し△33.3。来期は、9.1ポイント改善し△24.2の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、14.6ポイント改善し△12.2。来期は、2.4ポイント改善し△9.8の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、13.0ポイント低下し△3.3。来期は、10.0ポイント低下し△13.3の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、6.4ポイント低下し8.8。来期は、14.7ポイント改善し23.5の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、10.8ポイント改善し△5.9。来期は、11.8ポイント改善し5.9の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

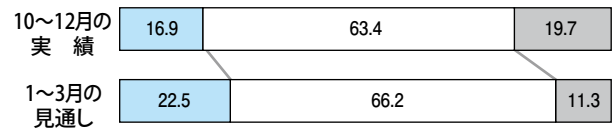
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

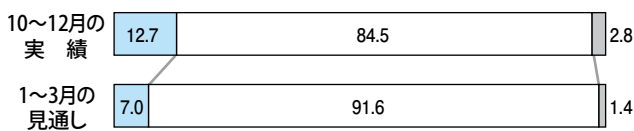
【業況】



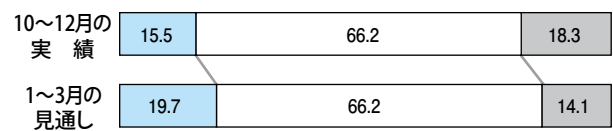
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは△8.5、前期比2.8ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△2.8と前期比5.8ポイント、収益判断D.Iでも△2.8と同4.3ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△9.9、前期比7.0ポイント、同収益判断D.Iは△8.5、同8.5ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.3と前期比11.6ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△5.6と前期比8.5ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が21.1%(前期27.1%)、「予定あり」が16.9%(前期14.3%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.5%(前期12.9%)となりました。

経営上の問題点では、「人手不足」が32.4%、「売上の停滞・減少」が31.0%、「同業者間の競争激化」が18.3%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

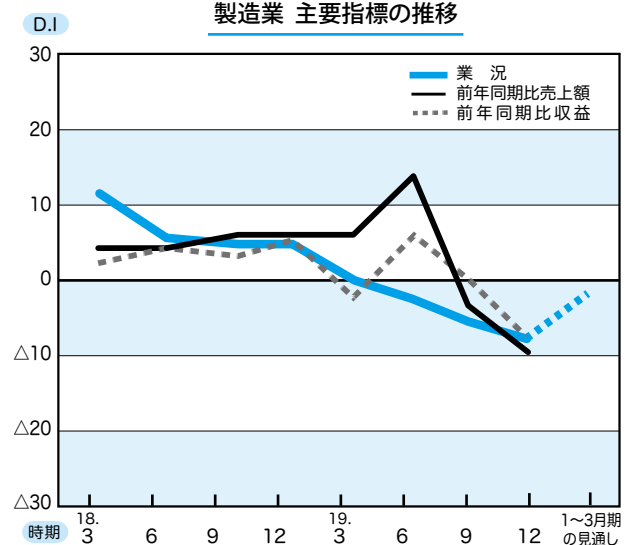
業況の見通し判断D.Iは△1.4、当期実績比7.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比14.1ポイント、収益判断D.Iでも同8.4ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比7.0ポイント低下、残業時間D.Iは同11.2ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が49.3%、「経費の節減」が45.1%、「人材を確保する」が29.6%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



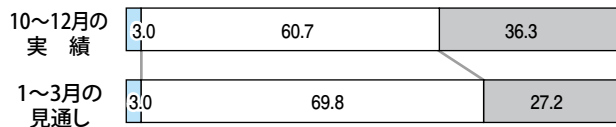
調査員のコメントから

消費税増税の影響は想定していたより少ない。尚、若手人員の確保と老朽化した設備の更新を検討しなくてはならない。

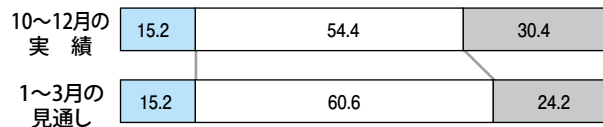
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

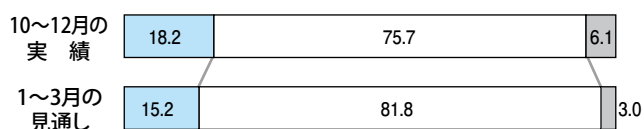
【業 況】



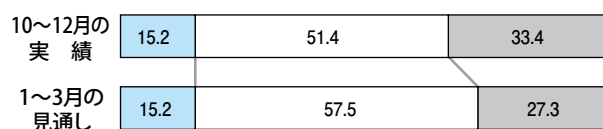
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは△33.3、前期比18.1ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△15.2と前期比6.1ポイント、収益判断D.Iでも△18.2と同3.0ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△15.2、前期比6.1ポイント、同収益判断D.Iは△21.2、同9.1ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.1と前期比3.0ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは6.1と同12.2ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が18.2%（前期6.1%）、「予定あり」が12.1%（同6.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.1%（前期12.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が42.4%、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ21.2%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

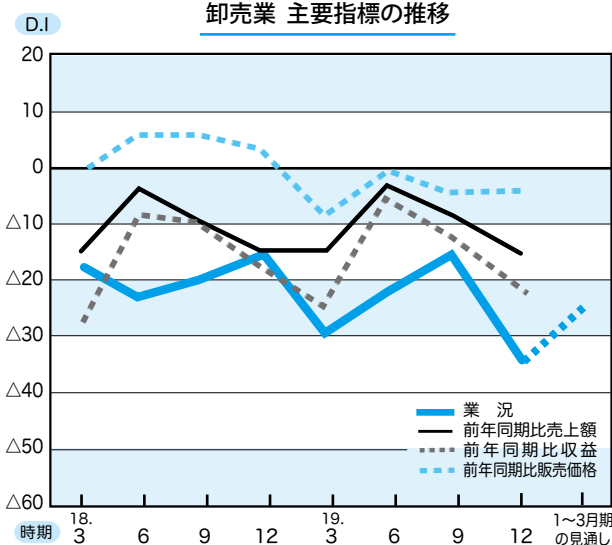
業績の見通し判断D.Iは△24.2と当期実績比9.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.1ポイント、収益判断D.Iでも同6.1ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでも当期実績比3.1ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.0ポイント低下、残業時間判断D.Iは同3.1ポイントの減少見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が66.7%、「経費の節減」が45.5%、「情報力の強化」が27.3%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



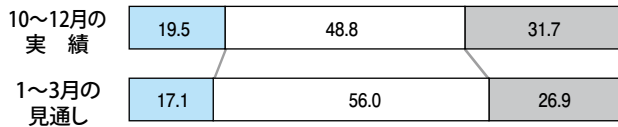
調査員のコメントから

自然災害の影響により安定価格での供給が難しかった。尚、消費税増税に伴い価格見直し等を行ったが、売上・利益共に横這いで推移している。

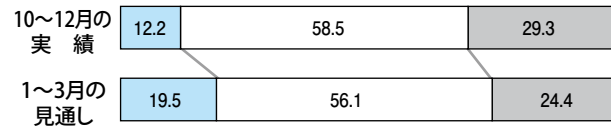
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

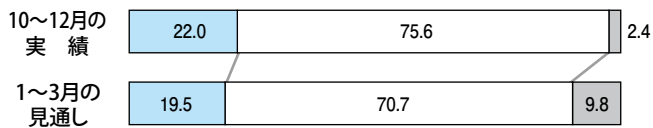
【業 況】



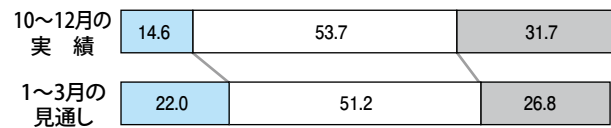
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは△12.2、前期比14.6ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△17.1と前期比4.9ポイントの改善、収益判断D.Iでは△17.1と同9.7ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△26.8、前期比12.2ポイント、同収益判断D.Iは△24.4、同17.1ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.8と前期比4.8ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△12.2と同7.3ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.0%（前期24.4%）、「予定あり」が9.8%（前期14.6%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は2.4%（前期9.8%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.6%、「大型店との競争激化」が29.3%、「同業者間の競争激化」が26.8%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

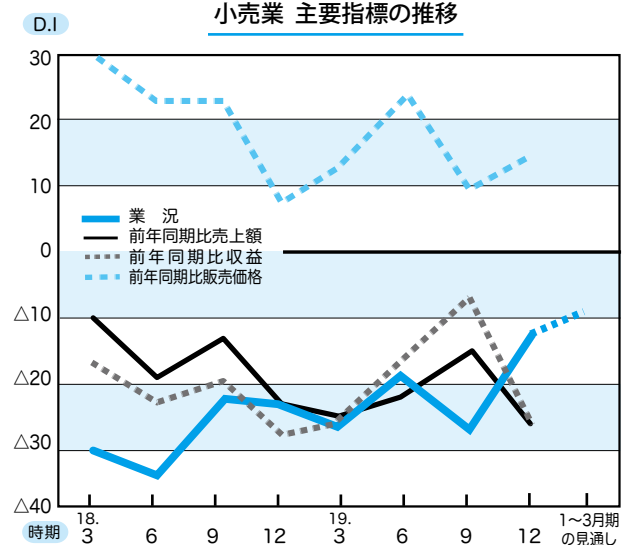
業況の見通し判断D.Iは△9.8、当期実績比2.4ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.2ポイント、収益判断D.Iでも同12.2ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比9.7ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比4.8ポイントの低下、残業時間判断D.Iにおいては同4.9ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.4%、「品揃えを改善する」が31.7%、「売れ筋商品の取扱」が22.0%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



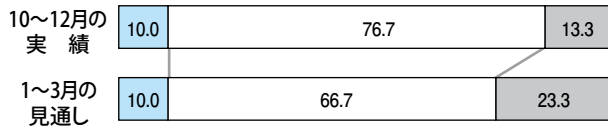
調査員のコメントから

消費税増税による売上への大きな影響は無い。キャッシュレス決算の利用率は約40%の状況で、地元産の商品開発により、他店との差別化に努めている。

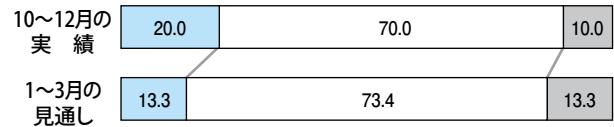
■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)

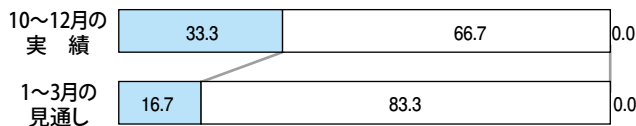
【業況】



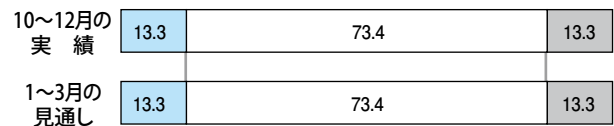
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 □ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは△3.3、前期比13.0ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが10.0、前期比0.3ポイント改善、収益判断D.Iは0.0と同9.7ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△13.3、前期比23.0ポイント、同収益判断D.Iでは△13.3、同23.0ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△23.3と前期比7.2ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比12.9ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が23.3%（前期22.6%）、「予定あり」が13.3%（前期6.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は16.7%（前期19.4%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が43.3%、「人手不足」が36.7%、「売上の停滞・減少」が23.3%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

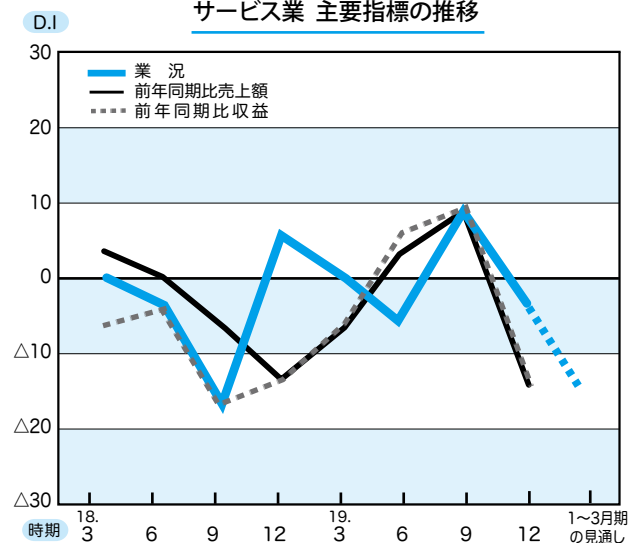
業況の見通し判断D.Iは△13.3、当期実績比10.0ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比10.0ポイント低下、収益判断D.Iは同横這いを見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比16.6ポイントの減少を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.3ポイント改善、残業時間判断D.Iでは同横這いの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が46.7%、「販路を広げる」が30.0%、「人材を確保する」が26.7%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



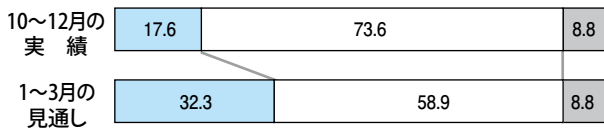
調査員のコメントから

消費税増税の影響は殆ど無い。若手人材の確保と従業員の定着等が、今後の課題である。尚、若年層の集客に注力し、売上増加に繋げて行く方針でいる。

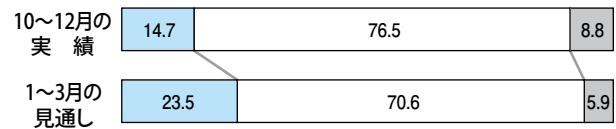
■ 建設業

回答企業数34企業(回答率94.4%)

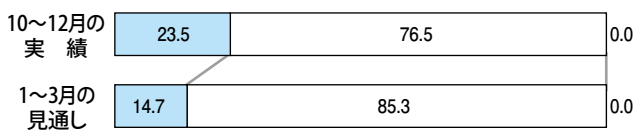
【業況】



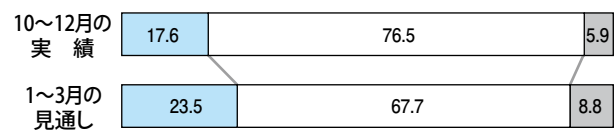
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは8.8、前期比6.4ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが5.9と前期比3.2ポイント、受注残判断D.Iは14.7と同3.5ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは14.7、前期比14.7ポイント、同収益判断D.Iは8.8、同11.8ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△29.4と前期比2.1ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは5.9と前期比3.2ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が38.2%(前期30.3%)、「予定あり」が26.5%(前期30.3%)を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は5.9%(前期6.1%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.1%、「人手不足」が35.3%、「材料価格の上昇」が26.5%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

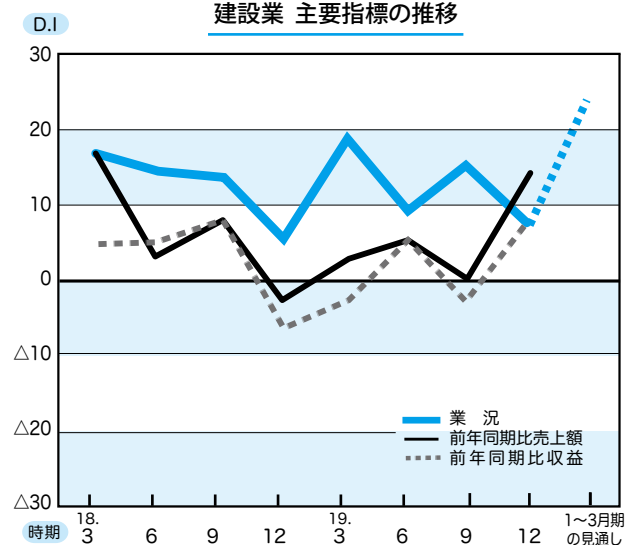
業況の見通し判断D.Iは23.5、当期実績比14.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.7ポイント、収益判断D.Iでも同2.9ポイントともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.8ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.9ポイント改善、残業時間判断D.Iは同横這いの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が58.8%、「販路を広げる」が41.2%、「人材を確保する」が29.4%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



調査員のコメントから

消費税増税後、特段の変化は無い。官公庁及び個人からの受注が安定しており業況は順調で、下請け企業との連携強化に努めている。

■ 不動産業

回答企業数17企業(回答率94.4%)

【業況】

10～12月の実績	5.9	82.3	11.8
1～3月の見通し	17.7	70.5	11.8

【売上額】

10～12月の実績	17.7	70.5	11.8
1～3月の見通し	29.4	58.8	11.8

【仕入価格】

10～12月の実績	11.8	88.2	0.0
1～3月の見通し	11.8	88.2	0.0

【収益】

10～12月の実績	17.7	76.4	5.9
1～3月の見通し	23.5	70.6	5.9

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

10月～12月期の概況

業況判断D.Iは△5.9、前期比10.8ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが5.9と前期比17.0ポイント、収益判断D.Iは11.8と同11.8ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは11.8、前期比11.8ポイント、収益判断D.Iは11.8、同0.7ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△29.4と前期比7.2ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△5.9と同11.5ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が23.5%（前期16.7%）、「予定あり」は17.6%（前期16.7%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」・「商品物件の不足」がそれぞれ29.4%と上位に挙げられました。

1月～3月期の見通し

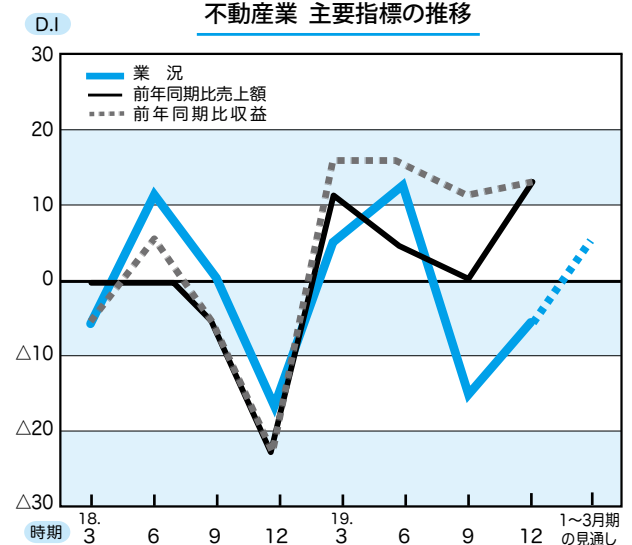
業況の見通し判断D.Iは5.9、当期実績比11.8ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.7ポイント、収益判断D.Iでも同5.8ポイントともに改善を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比11.8ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這い、残業時間D.Iは同5.9ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「情報力の強化」がそれぞれ41.2%、「宣伝・広告の強化」が35.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

消費税増税の影響はあまり感じてない。業況はほぼ横這いで、地方の不動産仲介業において、次年度も大きな変化は無いと予測している。

特別
調査

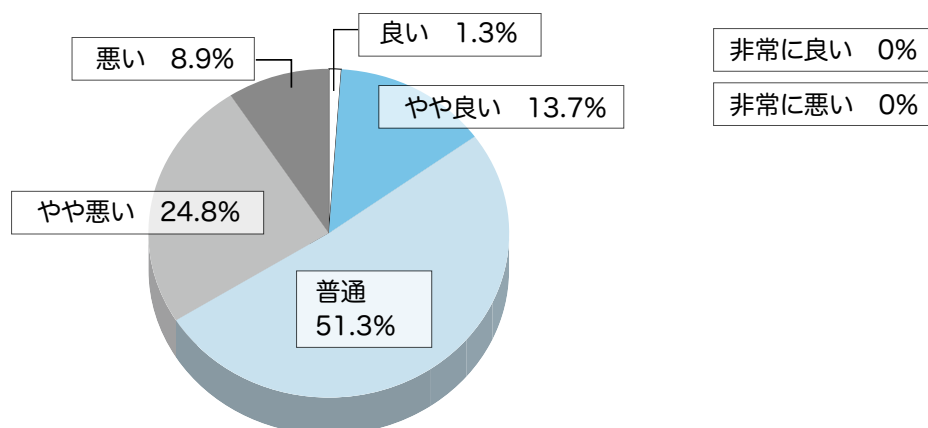
2020年(令和2年)の経営見通し

「2020年（令和2年）の経営見通し」について調査を実施しました。

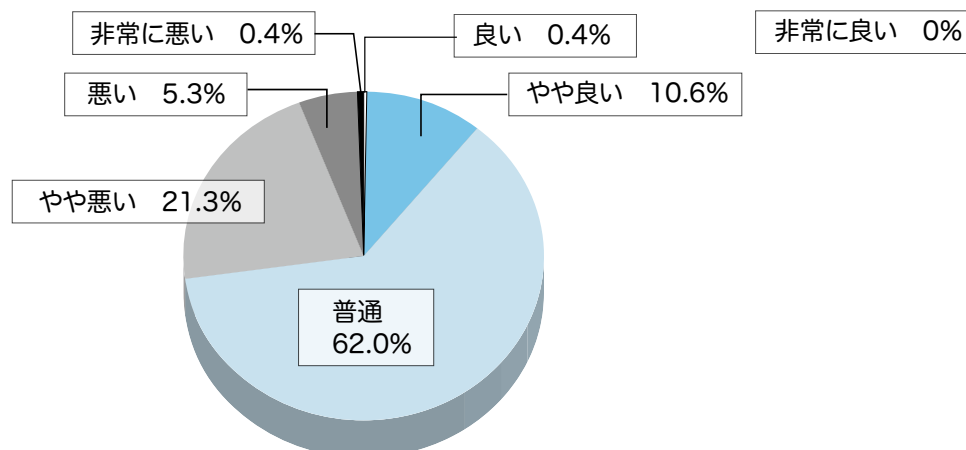
「貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか」の質問に対し、「普通」との回答が51.3%と最も多く、次いで「やや悪い」との回答が24.8%という結果となりました。

そのほか、「10月以降の貴社の経営は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか(受けている影響とその理由)」を、次のように取り纏めました。

問1 貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか。

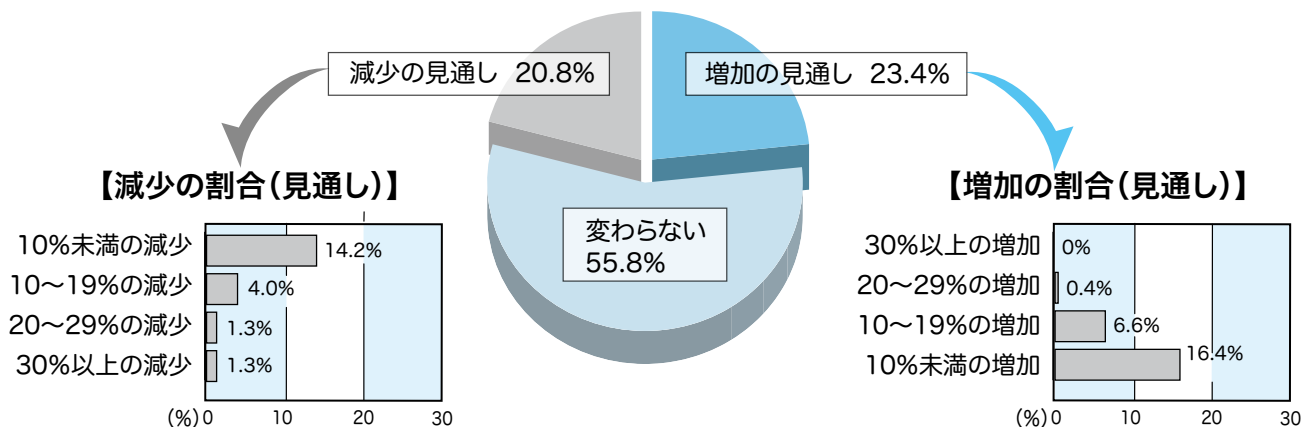


問2 貴社では、2020年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



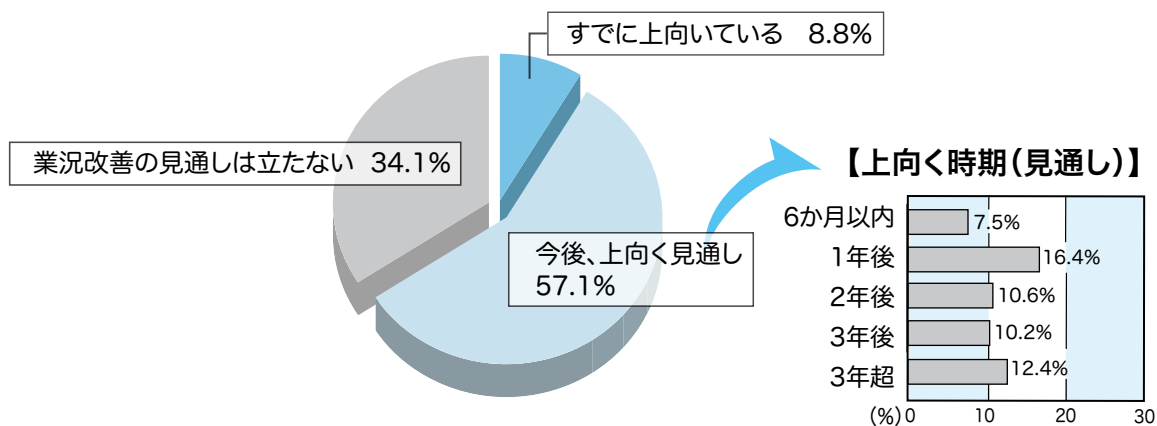
問3

2020年において貴社の売上額の伸び率は、2019年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



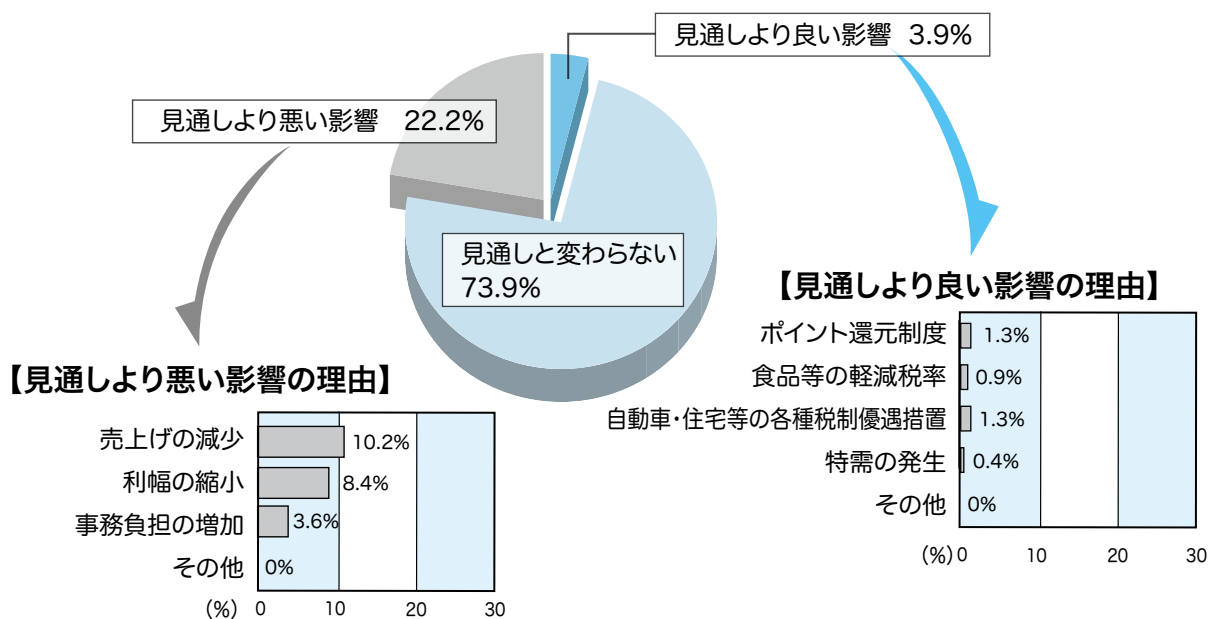
問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

10月以降の貴社の経営は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。



明けましておめでとうございます

令和2年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
今後とも地域社会の繁栄に向けて役職員心を一つにして
精進してまいる所存でございます。

本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫

理事長 石塚 清博



地域活性化融資

短期間の資金もご利用できます。

「上昇機運」

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、
地域の活性化をサポートします。

ご融資：
金額： 最高 5,000 万円

ご融資：
期間： 10 年以内

お取扱期間 2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地

TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414

Eメール yukisb@intio.or.jp http://www.shinkin.co.jp/yuki/